

※この「NEWSおりお」は折尾地区総合整備事業の進捗状況等を地域の皆様にお知らせするため発行しています。

折尾地区総合整備事業は、学園都市としての魅力あるまちづくりのため、また、北九州学術研究都市の玄関口にふさわしい交通拠点の形成のため、折尾地区の交通環境の改善や交通結節機能のさらなる向上、駅南側の住環境の改善、まちの一体化などに取り組み、折尾地区を広域拠点として再構築を図ります。

本事業は、鉄道のトンネル化・高架化を行う「連続立体交差事業」、幹線道路の拡幅や駅前広場の整備を行う「街路事業」、住環境の改善を図る「土地区画整理事業」の3つの事業を一体として行うものです。

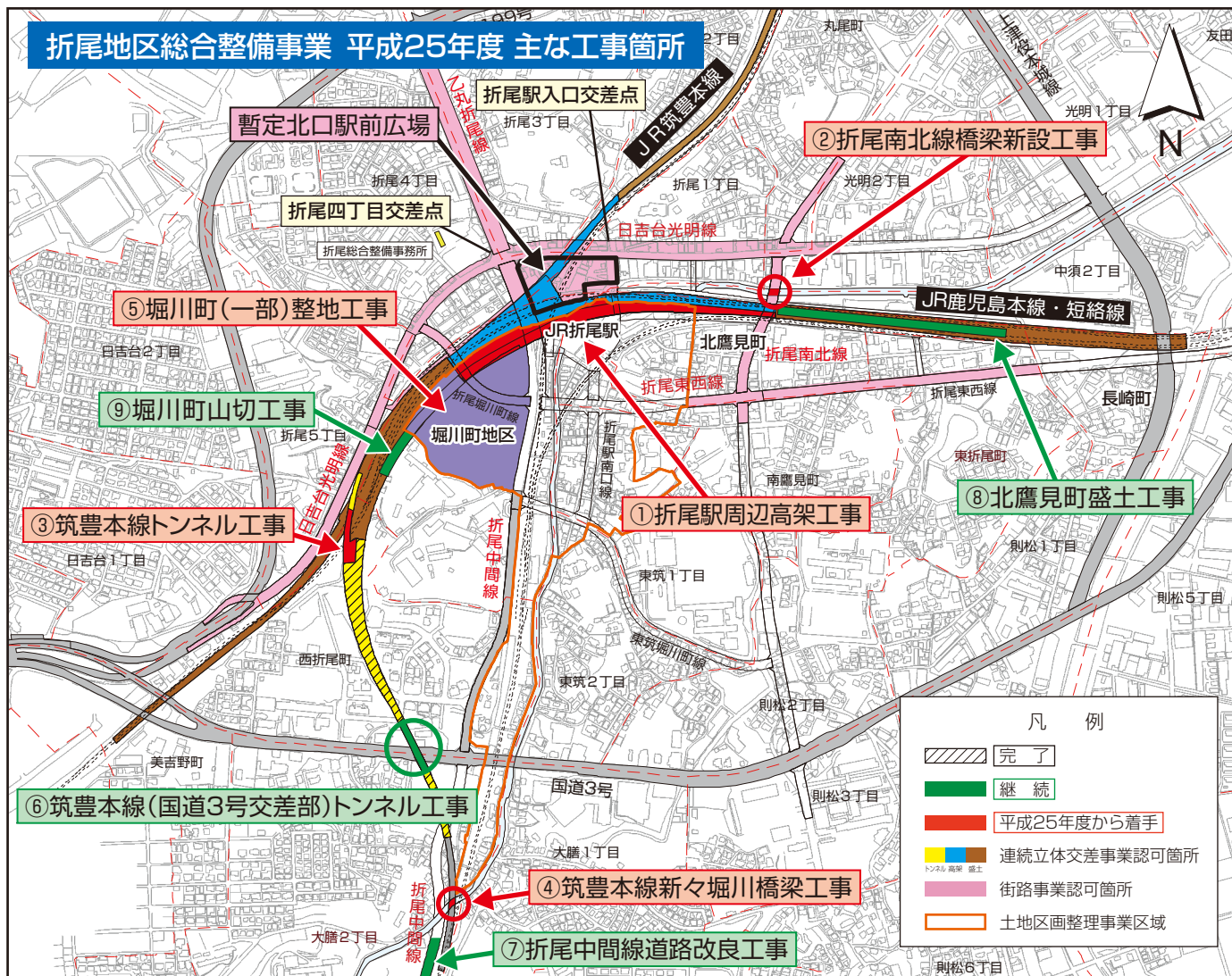
平成25年度の工事予定箇所をお知らせします

● 今年度から新たに行う工事

- ①折尾駅周辺高架工事 ②折尾南北線橋梁新設工事 ③筑豊本線トンネル工事
④筑豊本線新々堀川橋梁工事 ⑤堀川町（一部）整地工事

● 前年度から引き続き行う工事

- ⑥筑豊本線（国道3号交差点）トンネル工事 ⑦折尾中間線道路改良工事
⑧北鷹見町盛土工事 ⑨堀川町山切工事



このようにかわりました！

昨年10月、北口の仮駅舎や暫定駅前広場の供用を開始し、今年4月には旧駅舎の解体が完了しました。

このほか、筑豊本線のトンネル工事をはじめ、長崎町から北鷹見町にかけての盛土工事（地盤改良）や折尾すい道撤去、鹿児島本線（一部）の切替工事などを順次進めてきました。

このように折尾駅周辺は、この一年で大きく様変わりしました。

○JR折尾駅周辺



○折尾ずい道付近（折尾ずい道撤去、鹿児島本線切替）



鉄道高架工事に着手します！

今年度から、折尾駅周辺の
鉄道高架工事に着手します。

(今年度の工事内容)

- ・ 3 番ホーム南側の建物等の撤去工事
- ・ 鉄道高架構造物の基礎・橋脚工事 など

鉄道高架工事に伴い、駅構内の歩行者通路が切り替わります。

詳細は、掲示板等でお知らせします。

ご協力をお願いします。



折尾駅舎の調査・解体について

折尾駅舎の歴史や姿を後世に伝えるとともに、新駅舎へのシンボリックな部材の活用や歴史的な外観の再現に活かすため、北九州市とJR九州が連携して折尾駅舎の調査を行いました。

調査にあたっては、専門家から意見を聞くとともに、折尾駅舎を丁寧に、解体しながら次のことを行いました。

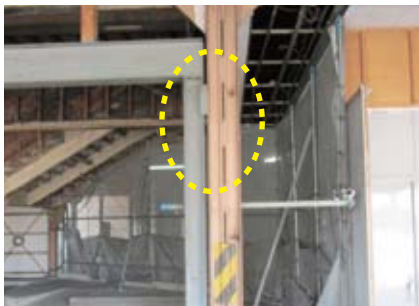
- ・新駅舎での活用が可能な部材の確認や選定
- ・建設当初から残る部材の塗膜を一部丁寧に剥ぎ取り、塗装の変遷の調査
- ・柱や梁などの構造部材の実測・図面化
- ・歴史資料や文献等で、建築の変遷などの整理

今回の調査で確認された主なもの

- ① レールを活用した柱（1934年（昭和9年）の刻印）
- ② カタカナで「ヤワタ」と表記された古い鋼材（階段）
- ③ 棟飾りや格子天井が比較的新しい
- ④ 白蟻による被害や転用材と思われる形跡（ほぞ穴）、鋼材による複数の補強の跡など

調査結果については、今年の秋までにとりまとめ、公表する予定です。

①レールを活用した柱（1934年（昭和9年）の刻印）



③棟飾り（銅板）



②カタカナで「ヤワタ」と表記された古い鋼材（階段）



④-1 白蟻による被害



④-2 転用材と思われる形跡



④-3 鋼材による複数の補強の跡



折尾出張所での展示・一時保管（イメージ図）



今後、新駅舎の整備にあたっては、どの部材を、どのように保全・活用できるのか、専門家の意見を聞きながら、JR九州とともに検討を行います。

なお、待合室にあった化粧柱や円形ベンチ等のシンボリックな部材については、地域の方々に見ていただけるよう、八幡西区役所折尾出張所に、年内には、展示・保管する予定です。

事業期間の見直しを行いました

北九州市は、折尾地区総合整備事業を、平成16年度の事業着手以降、地域の方々のご理解とご協力をいただきながら、一步ずつ着実に推進してまいりました。

しかしながら、暫定北口駅前広場や仮駅舎整備に必要な用地の取得に時間を要し、整備完了が、当初計画に比べ約4年半遅れました。

今年度からの駅周辺高架工事の本格的な着手にあたり、遅れを短縮すべくJR九州と連続立体交差事業の工程について調整を行った結果、やむなく事業期間を平成34年度まで3年間延伸することが必要となりました。

併せて、関連する街路事業および土地区画整理事業についても、事業期間を延伸します。

今後は、事業の円滑な推進による一日も早い完成を目指し以下のとおり取り組みます。

- ・JR九州とさらに連携し、鉄道高架工事の早期完成を目指します。
- ・懸案用地の早期取得に努めます。
- ・事業期間の見直しも含め、事業内容を丁寧に説明し、地域の方々の理解を得ながら事業を推進します。

みなさんのご理解、ご協力をお願いいたします。

	事業名	当初計画	見直し後
1	連続立体交差事業	平成16年度～31年度	～平成34年度
	新駅舎完成	平成28年度	平成32年度
2	街路事業		概ね3年延伸
3	土地区画整理事業	平成18年度～34年度	～平成37年度

堀川町地区で仮移転の補償にかかる協議を始めました

折尾土地区画整理事業のうち、最初に整備する堀川町地区において、昨年8月から仮換地の指定を開始し、仮移転の補償にかかる協議を始めました。

お願い

折尾地区総合整備事業で、都市計画決定している道路や土地区画整理事業の区域内において、建築物の建替えや新築、増築等を行う場合は、都市計画法や土地区画整理法による許可が必要です。計画のある方は、事前にご相談いただきますようお願いいたします。
また、土地建物の売買や相続で権利の変更がある場合も、ご連絡をお願いいたします。

お問い合わせ先

北九州市 建築都市局 折尾総合整備事務所

住所：807-0825 北九州市八幡西区折尾四丁目8-18

計画課、区画整理事業課 TEL 093-602-3108 / FAX 093-602-3128

工事課 TEL 093-691-2522 / FAX 093-691-2506

e-mail: toshi-keikaku@city.kitakyushu.lg.jp

折尾地区総合整備事業ホームページ

折尾地区総合整備事業

検索